

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.233)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の解体撤去工事始まる

豊田PCB廃棄物処理施設は、令和6年3月末までに保管事業者が保管しているPCB廃棄物の処理を終えることとしています。処理対象物の減少に合わせて、昨年6月から停止していた「コンデンサー自動解体ライン(コンデンサーを自動で解体する設備)」の解体撤去工事を7月から始めました。



この解体ライン設備の電気系統を電源から切り離すための工事を皮切りに、8月にはこの設備と他の設備とを繋いでいる配管の切り離し作業を進め、9月中旬からはこの設備自体の解体撤去を行っていきます。

(左の写真は、電源中継ボックスから各解体機器に繋がる配線を切断しているところです。)

2. 毎月21日は安全の日

『安全の日』は、過去に重大なトラブルが21日に発生したことから、同様なトラブルを発生させないように記憶を新たにするために定めたものです。始業時に、運転に携わる所員(運転委託会社を含む。)が集まり安全集会を開催します。今回は、事業所長と運転会社社長が新たな変化点である解体撤去に関する安全意識の啓発のための訓話を行い、最後に指差呼称で安全への誓いを行いました。



(安全集会の様子)



(安全パトロールの様子)

安全パトロールは解体撤去工事現場も含めて、所内各所を巡回しています。

このパトロールでは、日常作業中の整理整頓や作業者の安全を図るための保護具の取扱い状況に加え、危険な場所の有無など、安全な作業を目指し様々な観点でチェックを行っています。なお、パトロールで指摘した改善すべき事項とその対応状況及び、模範となる好事例は所内会議で確認し、関係者全員が共有しています。

3. 夜間想定防災訓練を実施しました

当施設では、24時間4班3交代の勤務体制をとっているため、夜間の災害発生時にも限られた勤務者だけで被害を最小限に止められるよう、一番条件が厳しい夜間の火災発生を想定した防災訓練を実施しています。

各班がそれぞれ1回ずつ訓練を実践するように、8月に計4回の訓練を実施しました。

訓練では、少人数の夜勤者による初期消火活動を中心に、消火器と移動式粉末消火設備の操作方法の習得、併せて消防署への119番通報と公設消防隊の誘導、館内一斉放送および豊田市への緊急通報等の手順を確認しました。



(消火器を使った初期消火訓練の様子)



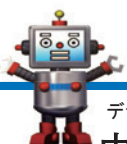
(移動式粉末消火設備の操作訓練の様子)

また、初期消火活動は重要ですが、消火作業中に熱いと感じたら決して無理をせず、その場から速やかに退避することが最優先であるとの教訓も学びました。

4. 夏の交通安全街頭活動について

7月11日(火)に豊田市 の「夏の交通安全市民運動」に参加しました。

当施設からはJESCO、運転会社の社員12名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、道路を通行するドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。マスク着用については、熱中症への配慮から自主判断としながら、相互に間隔を取って実施しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

